

第28回 山と自然のサイエンスカフェ@信州 セミから考える気候の変化

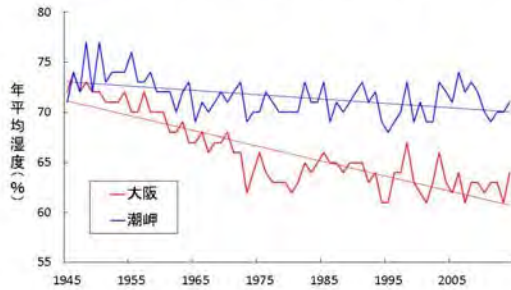
沼田 英治 (京都大学大学院理学研究科教授)

日時： 平成 29 年 6 月 22 日 (木) 18:00~19:30

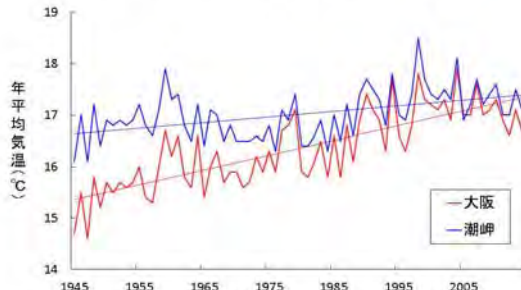
会場： ステーションビル MIDORI 長野 3F “りんごのひろば”

大阪など西日本の都市部では、近年クマゼミが著しく個体数を増加させ、セミの種構成が著しく変化した。その原因として温暖化の可能性が指摘されているが、それは本当か。このサイエンスカフェでは、わたしたちの研究を通してクマゼミ増加の原因を探るとともに、日本全体における今後の展開について長野県のみなさんとともに考えてみたい。

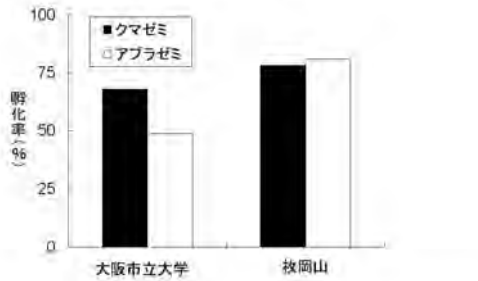
大阪と潮岬の年平均湿度の変化



大阪と潮岬の年平均気温の変化

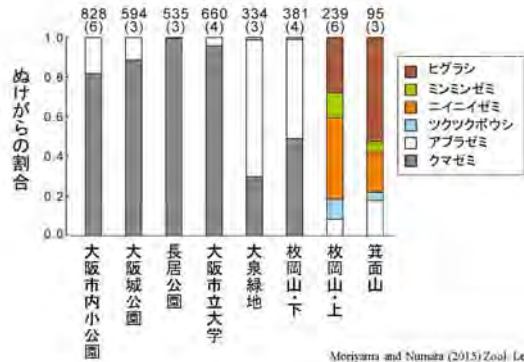


セミ卵の孵化率 (2005~2006年)



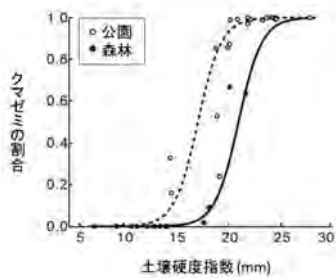
Moriyama and Numata (2009) Entomo. 50.

セミの種構成



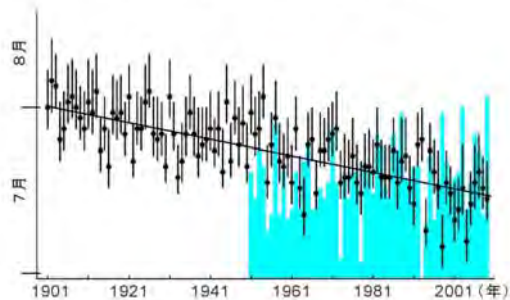
Moriyama and Numata (2015) Zool. Lett.

土壌硬度とクマゼミの割合



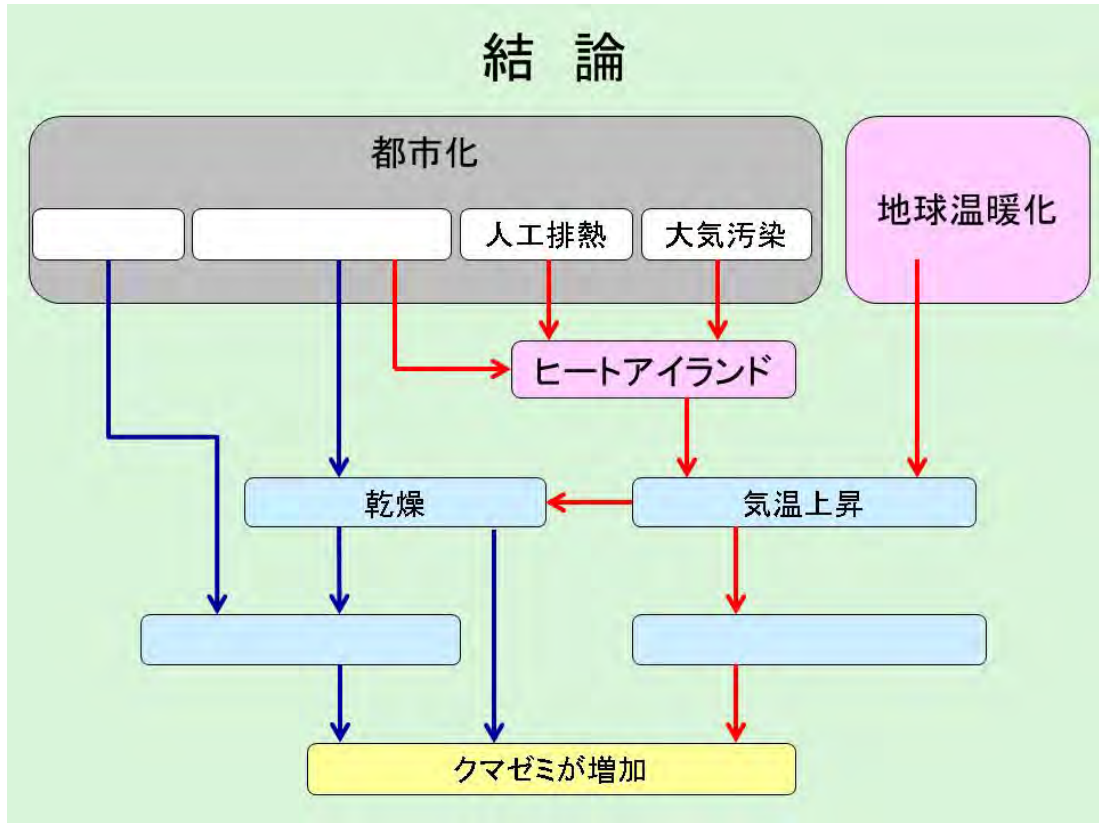
Moriyama and Numata (2015) Zool. Lett.

孵化時期と梅雨時期の同調



Moriyama and Numata (2011) Zool. Sci.

結論



参考書：『クマゼミから温暖化を考える』 沼田 英治 岩波ジュニア新書